

皆さんもぜひ、家族や身近な人との関係を見つめ直し、人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

友達の大切さ

一の宮中学校 二年 現三年 倉岡 里奈

私はソフトボール部に入っています。この部を選んだ理由は、個人競技と違い、一つの喜びをみんなに分かち合い、一人よりも何倍も楽しめると思ったからです。どんなスポーツでも「チームワーク」が大切だといわれています。もちろん、ソフトボールも同じです。チームの誰かが自分勝手なことをすれば、それはチーム全体に影響してしまいます。私は故障が多く、みんなに迷惑をかけることもありましたが、それでもチームメイトは受け入れてくれます。

以前、私は腰を痛めてしまいました。それでも練習をしたくてずっと我慢していました。しかし、痛みは日を追うごとに増してきました。それでも練習は休みたくなりませんでした。コーチに痛いとも言いたくありませんでした。そして、痛みは我慢できないほど強くなり、歩くのも嫌になりました。とうとう私は、両親に腰の痛みを訴え、病院に行くことにしました。すると、お医者さんから、「体がボロボロですね。無理しすぎです。」と、言われました。

私は（どうしてこんなに体が弱いのだろうか？どうして頑張れないのだろうか？）と自分を責めました。その半面、（自分の体なのに休ませてあげなくてごめん）と自分自身に謝りました。

次の日の練習では、チームメイトに顔を合わせられま

せんでした。そして、練習を見学している間、涙が止まりませんでした。その理由は、練習ができない辛さだけではありません。チームのみんなに迷惑をかけたことが私の心に重くのしかかっていたのです。涙はずっと止まりませんでした。その日は早めに練習を切り上げ、家でゆっくり体を休めました。

時計の針が八時を指した時、遠くから電話の鳴る音が聞こえました。誰も出る心配がなかったため、仕方なしに痛い体を動かして、電話に出ました。「大丈夫？」

それは、あるチームメイトの声でした。私は、自分の体のことを伝えました。すると、

「あんた無理すっけん。頑張りすぎるったい。一人で悩みなすな。うちもおるやん。」

と、言ってくれました。私はまた涙が止まらなくなりました。その子と話をすることで、私は自分自身と向き合うことができました。自分にできることをやろうと思えるようになったのです。

それは、私と同じように辛い思いをしている仲間を、私が笑顔にしてあげようということでした。私はそう思えるようになりました。そうしたら、チームのみんなとも向き合えるようになりました。すると、きつい思いをしているのは、私だけではないことに気付きました。

私はケガをしたことで、自分自身を客観的に見つめ、本当のチームワークについて考えることができました。そして、両親をはじめ、たくさんの人に恩返しをするという意味で、部活動を頑張りたいと思いました。残りの一年をみんなで支えあいたいのです。

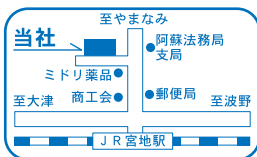
平成二十二年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より

お部屋探しのパートナー



阿蘇不動産賃貸管理室
有限会社 フォース

=ご来店のご案内=



(社)全国宅建建物取引保証協会会員
(社)熊本県宅地建物取引業協会会員
賃貸不動産管理業協会会員
移住・住みかえ支援機構会員
熊本県知事免許(6)2807



契約者優先につきお早めに!!
各物件の詳細については、ご来店のうえ
納得のいくまでお確かめ下さい。

☎(0967)22-4660